

## 東京都の社会的養護の充実

国立成育医療センター

奥山 真紀子

### 社会的養護

- 子どもが心身ともに健康に育つ権利の保障
- 子どもは親のもの→社会が権利を保障
- 子育てのセーフティーネット
- 必要なケアが与えられず、傷ついた子どもの回復と発達の保障
- 養育の問題で傷ついた子どものライフサイクル支援（一生を考える）
- リプロダクションサイクルを考える

## 虐待の影響は世代を超える

### ■ 世代間連鎖

全国母子生活支援施設での調査（回答1369世帯、子ども2252人）  
子どもの精神的問題に関しては、母のDVの有無では有意差なく、母の過去の被虐待歴で有意差有

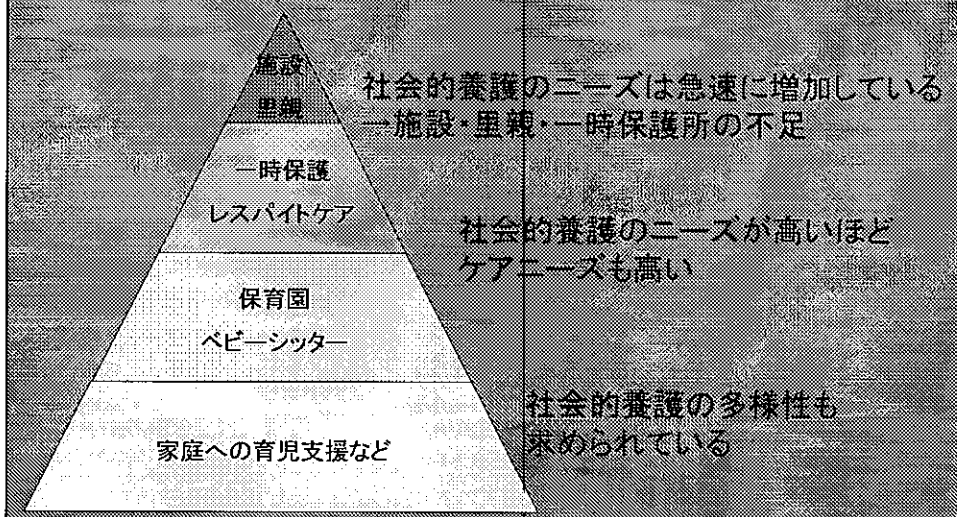
### ■ 非行・犯罪への影響

少年院2251人よりの回答より72.7%が家族からの加害行為を経験  
児童自立支援施設1188人に関して、男子の65.7%、女子の34.3%が過去に虐待を受けていた

### ■ 被害を繰り返す問題

上記母子生活支援施設調査より、DV体験者の26%が身体的虐待を、36%が心理的虐待を、20%が性的虐待を体験していた

## セーフティーネットとしての社会的養護



## 疾患や障害を持った要保護児童

- 慢性疾患を持った子どもの増加  
小児慢性特定疾患登録患者頻度 概ね200人に1人  
慢性疾患の子どもと家族332例の調査より  
精神的な問題を持つ児童は一般の子どもの約2倍
- 発達、行動、情緒の問題を持った子どもの増加と変化  
全国の公立小・中学校および保育園調査（20%を無作為抽出、合計1万が所）、何らかの対応を必要とした精神的問題のある子どもは  
保育園 4.6%、小学校 2.9%、中学校 4.2%  
内容的には内在化問題⇒外在化問題（行動化）
- 疾患や障害を持った要保護児童の増加  
施設に保護された子どもの慢性疾患率が高い  
例 札幌院、低出生体重児は2.4倍、極低出生体重児は3.6倍  
施設入所児のケアが必要な基礎疾患率（2-6歳）：29.2%

## 社会的養護で必要とされるケア

- 愛着の問題を持った子どもへのケア
- ト라우マへのケア
- 性的な問題へのケア
- 身体疾患へのケア
- 発達障害へのケア

⇒それらのライフサイクルを見据えたケア



## 東京の社会的養護の問題点

(現場から観察して)

### 児童相談所

- 職員の不足
- 職員の技量の格差
- 家族全体を診る力の問題 (例: DVを扱えない)
- 機能分化の問題点

### 一時保護所

- 一時保護所の不足
- 一時保護所のケア状況
- 一時保護所のアセスメントとマッチング

## 続き

### 児童福祉施設

- 量的不足
- 情緒障害児短期治療施設がない
- 施設が安全で安心できる場所になっていない  
→ トラウマ治療を医療機関で行う限界
- 性的問題への対応が困難
- 障害児の問題 (入る施設の不足)

### 里親

- 調査不足、マッチングの問題
- 里親虐待
- 里親支援の不足



## 続き

### 連携

- 充実した社会資源を利用できていない
- 社会資源を育てることも大切
- 民間との連携がスムーズではないところがある
- 子どもを中心に考えていれば連携は育てられるはず!!



## ケアに係わる今後の予測

- 需要は更に増加する時期がある
- 性的虐待被害児の増加  
→ 性的問題の増加
- 行動化の増加
- 学習の問題の増加
- 親とのかかわりの支援が必要になる

## 施設・里親ケアに関する課題

- ケアに必要な人員配置が原則
- 一人ひとりの子どもに対するアセスメントからケアの流れが必要（テラーメイドケア）
- 大人にあわせるケアではなく、子どもに合わせるケアが必要
- 生活内ケアと治療の考え方の理念が必要
- 家族的ケアと枠組みのバランスを考える必要がある
- 移行期のケアが重要（一時保護、入所時、担当の変更、障の  
変更、退所など）
- 性と暴力に対するしっかりした考え方が必要
- 現実を避けないで対応することが必要
- 保護者との関係性に関する考え方の共有が必要
- やや離れた位置からのアドバイスができるSVが必要
- 生活全体を楽しめる暖かい文化の創出
- ケアワーカーがハッピーでないと子どももハッピーではない

## ケアの課題を達成するために

- ケアワーカーの増員
- 制度的対応（情報短の設置など）
- ハードの充実
- 乳児院・養護施設・児童自立支援施設・自律援助ホームの連携強化（切れ目ないケアのために）
- 良いケアへのインセンティブが必要
- ケアモデルの提示  
年齢、問題の質などによる多種類のケアモデル
- アセスメントとマッチングの充実
- 中間施設（デイケア、ナイトケア、レスパイトケア）の充実
- 退所後のケアの充実